

中村設計 研修旅行 in 徳島県



10月は、徳島県へ一泊二日の研修旅行に出かけました。
晴天に恵まれ充実した旅行を満喫することができました。



中村設計新聞

第七十号

十月二十日〜二十一日 快晴
研修旅行で徳島県へ行きました。



10月20日(土)		10月21日(日)	
なんば駅(南海電鉄)	集合・出発	『油屋 美馬館』	出発
和歌山港駅		穴吹駅	
和歌山港(南海フェリー)	↓	徳島駅	↓
徳島港			
穴吹駅	↓		
うだつの町並み散策 (吉田家住宅・脇町劇場等)		阿波おどり会館見学・阿波踊り観賞	
『油屋 美馬館』		阿波おどり会館 周辺散策	
宿泊		徳島駅	
		徳島港(南海フェリー)	
		和歌山港	
		なんば駅(南海電鉄)	
		到着・解散	



いざ、徳島へ!



〇レポート

今回初めて研修旅行に参加しました。電車にフェリーに旅気分を満喫。京都市内では海は見られないので、和歌山や淡路島の海の景色がとても綺麗で印象的でした。1日目、うだつの町並みの古い建築物は素晴らしいものでした。何百年もの月日を経た色艶、趣に歴史を感じノスタルジックな気持ちになりました。

2日目は初めての阿波踊り鑑賞。男性の踊りは力強く女性は華やかでよく見ると手先や足先まで細やかな動きで見ているとその動きに惹きつけられました。毎年8月に行われる本番は何倍も壮大で感動するのだらうと思います。2日間で様々な体験、様々な話ができました。天候にも恵まれ充実した研修旅行となりました。



お昼御飯はフェリーでお弁当。到着が待ち遠しい!



〇美馬市脇町〜うだつの町並み〜
江戸中期より、藍・繭に栄えた脇町。吉野川の水運に恵まれ、百を超える藍商人たちが栄華を極めました。連なる家並みには、富の象徴である「うだつ」が設けられています。「うだつ」とは、隣家との境界に取り付けられた土造りの防火壁をいい、「うだつが上る」の語源となっています。昭和六三年(一九八八年)に重要伝統的建造物群保存地区に指定されました。

〇阿波おどりの会館
阿波おどりの会館は、徳島市が誇る伝統芸能・阿波おどりの魅力を広く伝えることを目的とした観光施設です。専用ホールがあり、専属連による躍動的な阿波おどりを目の前で毎日体験することが出来ます。



ポランティアガイドさんに案内していただきました。

うだつ各家々の家紋や細工が施されています。

阿波踊り会館まであと少し!



所員も阿波踊りを体験しました。

〇まとめ
徳島は研修旅行で初めて訪れましたが、行って初めて気づいた魅力や発見があり、大変有意義な研修旅行になりました。この体験を生かし所員一同、日々の業務に励みたいと思います。



阿波おどり会館にて集合写真

〇レポート
研修旅行に初めて参加しました。徳島県は研修旅行としても私にとって初めての地でした。初日は和歌山港から徳島港へ。この日のメインは美馬市うだつの町並みです。地元のポランティアガイドさんの熱のこもった説明を聞きながら案内してもらいました。「うだつが上がる」幾度となく耳にした言葉の語源こそ知ってはいたものの「ほんまもん」がみられたことに感激しました。

二日目は、阿波踊りです。鑑賞して、体験もできて楽しかったです。お昼は「徳島ラーメン」を食べられた方も多かったのではないのでしょうか。お天気にも恵まれたことにも感謝しつつ、帰途につきました。

茶谷勝子